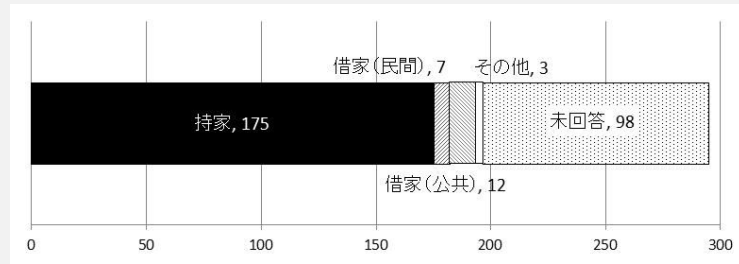


### ■震災時・震災後の住まいの状況等

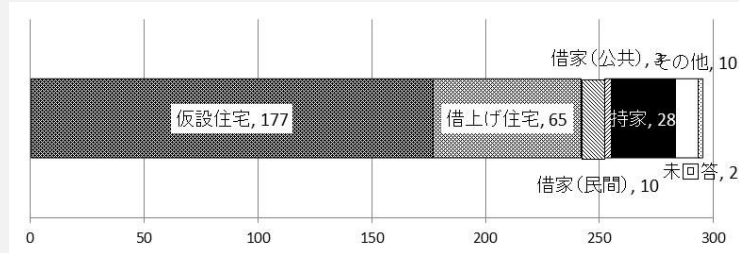
n=295

#### ●住まいの形態

・震災時、「持家」に居住する世帯が全体の6割弱(175世帯)。



・震災後(現在)、「仮設住宅(応急仮設・借上げ)」に居住する世帯は8割強(242世帯)。避難先で「持家を取得」している世帯は、1割弱(28世帯)。



#### ●世帯構成

・震災時は「三世帯世帯」と「小規模世帯」が多かったが、震災後(現在)、「単身」「夫婦のみ世帯」「夫婦と子供世帯」が増加。世帯人員も「1人」「2人」「3人」が多い。

#### ●世帯主(回答者)の年齢構成

・65歳以上高齢者の方が6割弱。

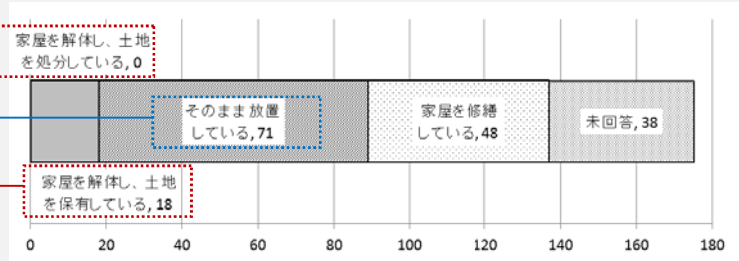
175世帯※ ※誤回答票もあるため、従前持家居住世帯のみを抽出し、集計している。

### ■持家の解体状況等

n=175

#### ●持家の解体・処分状況 (葛尾村に持家を持つ全ての世帯 n=175)

・「家屋をそのまま放置している」が4割強(71世帯)。次いで「修繕している」が3割弱(48世帯)。



#### ●「家屋を解体している」世帯(18世帯)の家屋解体の理由

・「経年・放置による劣化・破損」が9割強(17世帯)と最も多い。

#### ●「そのまま放置している」世帯(71世帯)の現在の家屋の状況

・「地震による損傷はひどくないが、その後の放置で著しい」が6割弱(41世帯)。

### ■避難指示解除後の意向

n=295

戻りたいと考えている  
(48%・143世帯)

世帯全員で戻りたいと考えている  
(21%・63世帯)

世帯の一部で戻りたいと考えている  
(世帯の一部は戻らないと考えている)  
(27%・80世帯)

世帯全員で戻らないと決めている  
(22%・66世帯)

まだ判断がつかない・わからない  
(28%・82世帯)

未回答(1%・4世帯)

世帯全員・一部で戻りたいと考えている  
143世帯

世帯の一部で戻りたいと考えている  
80世帯

世帯全員・一部が戻らないと考えている  
146世帯

66世帯

148世帯

### ■帰村に際して必要な支援策、施設・サービス

#### ●必要な行政の支援策

・最も必要な支援策は、「被災家屋の改修への補助・支援」「建物再建への支援・融資」。「移転費補助(引越・移転雑費等)」「被災家屋の解体支援」も必要な支援策にあげられている。

#### ●必要な施設・サービス

・最も必要な施設・サービスは「医療機関」が多い。

### ■避難指示解除後の住まいを選択する上での条件・問題等

#### ●帰村後の住まい・入居予定人数

n=143

・元の住宅を修繕、若しくは建替えて住むことを希望する世帯は全体の8割(116世帯)。  
・入居予定人数は、1人・2人が多い。

・公営住宅(既存・新築を含む)に住むことを希望する世帯は13世帯(既存公営住宅6世帯、新しい公営住宅・高齢者住宅7世帯)  
・入居予定人数は、1人が多い。

元の住宅の修繕・建替を希望  
116世帯

新しい公営住宅に入居を希望  
7世帯

#### ●元の住まいの修繕・建替えの問題

n=116

・元の住宅を修繕・建替えるにあたり、問題・不安を感じる世帯は3割強。  
・理由は「建設業者が見つからない」「建築資金不足」「その他(家屋解体のスケジュールが読めない/工事中の家財の一時保管場所の確保等)」があげられている。

#### ●新しく建設する公営住宅・高齢者住宅への要望

n=7

・構造は「木造」を希望する世帯が多い。  
・住まいの規模・間取りは「1LDK・2DK(50㎡台)2LDK・3DK(60㎡台)」を希望する世帯が多い。  
・住宅についていることを希望する空間やサービスは、「介護サービスが受けられる高齢者施設」をあげる世帯が多い。その他、集会所、コミュニティカフェ、健康相談、介護予防等があげられている。

#### ●持家の建設・購入の問題

n=81

・問題・不安を感じる世帯は4割。  
・理由は「土地購入費が高い」「希望の土地が見つからない」「その他(建設・購入の手続きの課題、新しい環境下の適合等)」があげられている。

#### ●民間賃貸を探す上での問題

n=11

・問題・不安を感じる世帯は5割弱。  
・理由は「民間賃貸住宅の家賃相場が高い」が最も多くがあげられている。

#### ●帰村しない世帯の住まい

n=146

・県内で住むことを希望する世帯が7割強(108世帯)。未回答が2割弱。  
・持家を希望する世帯が5割強(81世帯)。  
次いで公営住宅(12世帯)、民間賃貸住宅(11世帯)を希望する世帯が多い。

持家希望  
81世帯

民間賃貸希望  
11世帯

#### ●村外から村を訪れる頻度

n=66

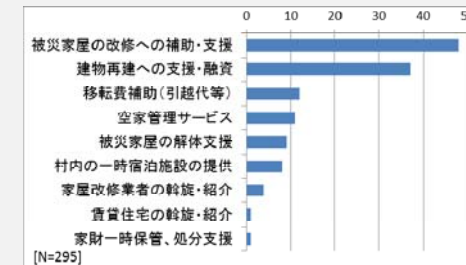
・「月1・2程度」「半年に1回程度」が多い。  
・村を訪れる理由は「村にある墓や自宅の管理」をあげる世帯が多い。

#### ●「村に戻らない」「判断がつかない理由」

n=148

・「医療環境に不安(最も当てはまる：18世帯、当てはまる：67世帯)」「放射線量・生活用水の安全の問題(最も当てはまる：19世帯、当てはまる：53世帯)」が上位。  
・次いで「避難先の方が生活利便が良い(最も当てはまる：11世帯、当てはまる：55世帯)」「村外・村の移動手段が不便(最も当てはまる：7世帯、当てはまる：59世帯)」があげられている。

### ■最も必要な行政の支援策



### ■最も必要な施設・サービス

n=295

